

平成17年度「教育研究支援プロジェクト経費」成果報告書

プロジェクトチームの代表者 部・講座等名 総合学習開発講座

氏 名 藤 村 裕 一

プロジェクトの名称	現職教員の再教育に対応した遠隔教育・授業支援システムの研究と開発	配分 予算額	2,300,000 円																													
プロジェクトの概要	<p>○現職教員が勤務地を離れることなく、職場や家庭からインターネットを利用して、受講することができるようにし、現職教員が自費で進学しようとする遠隔教育型大学院の在り方を検討し、その実現のために必要な要件を検討した。</p> <p>○既に遠隔教育システムを導入している岐阜大学、早稲田大学、上越教育大学などの協力を得て、見学調査・面接調査を行い、遠隔教育の可能性と問題点、ハードウェアシステム・ソフトウェアシステム・人的システム設計のポイントについて、調査・研究を行った。</p> <p>○Black Board, Web-CT, その他、大学・大学引用に開発された既存の代表的な遠隔教育システムについて調査を行い、そのうち本学で構想している遠隔教育型大学院に適していると考えられる3システムを選定した。</p> <p>○選定した3システム(i-Collabo, moodle, M L S)を高度情報研究教育センターサーバーームに導入して、希望する教員が利用できるように公開し、学部や大学院の授業、模擬実験授業などで試験的に運用し、本学の遠隔教育型大学院で想定される各種授業形態を実現できるかどうかを、調査した。</p> <p>○試験運用の結果について、受講生を対象に質問紙調査と面接調査を行った。</p> <p>○導入した各遠隔教育システムについて、教員を対象に使用法研修会を行い、授業の中で活用することを促進すると共に、その結果を基に、教員側の教材作成、授業実施の使い勝手について、面接法により調査を行った。</p> <p>○試験運用を通して、遠隔教育システムの運用ノウハウを蓄積しつつ、導入した各システムの長所・短所を比較検討した。</p>																															
成果の概要	<p>○試験運用を通して得られた遠隔教育システムに必要な要件に関する知見と、並行して検討し、具体化された本学の遠隔教育型大学院の在り方を元に、各種授業形態、受講者の利便性、教員の教材製作・授業実施の利便性、システムの安定性、保守管理作業の利便性等の視点から、本学で求められる遠隔教育システムの仕様を開発(策定)した。</p> <p>○その仕様を基に、試験運用の結果等を踏まえ、本学要求機能の実現度を、候補となった3システムについて比較表にまとめた。(以下、その抜粋)</p> <table border="1" data-bbox="427 1283 1390 1850"> <thead> <tr> <th>システムの機能一覧</th> <th>i-Collabo</th> <th>moodle</th> <th>mls</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・自学自習用のドリル形式教材を作成し、提供できること</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・設定された配信期間外でも講義コンテンツを参照し学習できるバックナンバー機能を用意すること。但し、学習管理上、受講履歴扱いとはならないこと。</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="4"><b>5. 電子掲示板機能</b></td> </tr> <tr> <td>・電子掲示板を有すること</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・電子掲示板は各講義毎に設けることができること</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・電子掲示板には、テキスト入力以外に表現効果をあげるために、URL情報や添付ファイルによる関連情報を登録可能なこと</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>○運用上必要と考えられた、学生向けと教員向けのファーストステップガイドを、i-Collabo, moodle, MLSの各システムについて開発した。</p> <p>○導入した3システムは、遠隔教育型大学院用として試験運用するだけでなく、現存する大学院・学部の授業において、授業支援システムとして20以上の授業で活用され、院生・学生の学習・研究活動を支援することができた。</p>				システムの機能一覧	i-Collabo	moodle	mls	・自学自習用のドリル形式教材を作成し、提供できること	○	○	○	・設定された配信期間外でも講義コンテンツを参照し学習できるバックナンバー機能を用意すること。但し、学習管理上、受講履歴扱いとはならないこと。	○	×	○	<b>5. 電子掲示板機能</b>				・電子掲示板を有すること	○	○	○	・電子掲示板は各講義毎に設けることができること	○	○	○	・電子掲示板には、テキスト入力以外に表現効果をあげるために、URL情報や添付ファイルによる関連情報を登録可能なこと	○	○	○
システムの機能一覧	i-Collabo	moodle	mls																													
・自学自習用のドリル形式教材を作成し、提供できること	○	○	○																													
・設定された配信期間外でも講義コンテンツを参照し学習できるバックナンバー機能を用意すること。但し、学習管理上、受講履歴扱いとはならないこと。	○	×	○																													
<b>5. 電子掲示板機能</b>																																
・電子掲示板を有すること	○	○	○																													
・電子掲示板は各講義毎に設けることができること	○	○	○																													
・電子掲示板には、テキスト入力以外に表現効果をあげるために、URL情報や添付ファイルによる関連情報を登録可能なこと	○	○	○																													

- (注) 1. 箇条書き等により簡明に記入すること。  
 2. 概要については、800字程度にまとめること。  
 3. 研究協力者として院生等が参加している場合、院生等の報告書があれば添付すること。  
 4. なるべくパソコン等で作成願います。